



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 太平洋興発株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8835 URL http://www.taiheiyo.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 好紀
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高橋 光幸 TEL 03-5830-1602
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,098	2.0	296	△31.4	195	△43.3	135	△41.9
2019年3月期第2四半期	15,789	△2.0	432	1.8	345	0.2	233	6.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △105百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 685百万円 (118.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	17.42	—
2019年3月期第2四半期	29.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	46,397	14,953	31.2	1,860.78
2019年3月期	43,897	15,292	33.7	1,904.11

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 14,475百万円 2019年3月期 14,812百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2020年3月期 (予想) 期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△0.0	880	△5.0	600	△18.7	400	37.4	51.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	7,783,448株	2019年3月期	7,783,448株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	4,109株	2019年3月期	4,109株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	7,779,339株	2019年3月期2Q	7,779,486株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績などにより雇用・所得環境が改善するなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。世界経済における通商問題、中国経済の先行き不安等の懸念材料も多く、依然不透明な状況が続いております。

このような経済状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期と比較し、建設工事セグメントの建設工事の受注が増加したこと等により、売上高は160億98百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

しかしながら、利益面については、商事セグメントの輸入炭販売数量が減少したこと及び当連結会計年度より北海道釧路市における石炭の鉄道輸送事業から撤退したこと等により、営業利益は2億96百万円（同31.4%減）、経常利益は1億95百万円（同43.3%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億35百万円（同41.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①不動産セグメント

前連結会計年度に取得した賃貸用不動産の賃料収入の増加等により、売上高は14億35百万円（前年同期比1.2%増）となり、営業利益は3億85百万円（同3.9%増）となりました。

②商事セグメント

主力事業である輸入炭の販売数量が減少したこと及び当連結会計年度より北海道釧路市における石炭の鉄道輸送事業から撤退したこと等により、売上高は79億76百万円（同13.0%減）となり、営業損失は23百万円（前年同期は2億46百万円の営業利益）となりました。

③サービスセグメント

当連結会計年度より給食事業の不採算部門から撤退したこと等により、売上高は27億90百万円（前年同期比2.5%減）となったものの、不採算部門からの撤退により利益率が改善したこと等により、営業利益は2億53百万円（同3.8%増）となりました。

④建設工事セグメント

建設工事の受注が増加したことにより、売上高は27億2百万円（同142.7%増）となり、営業利益は89百万円（前年同期は27百万円の営業損失）となりました。

⑤肥料セグメント

農業用肥料の販売数量が減少したことにより、売上高は11億93百万円（前年同期比3.1%減）となり、営業利益は30百万円（同14.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は463億97百万円となり、前連結会計年度末に比べて25億円増加となりました。この主な要因は、輸入炭の在庫の増加により商品及び製品が36億26百万円増加したことによるものであります。

負債は314億44百万円となり、前連結会計年度末に比べて28億39百万円増加となりました。この主な要因は短期借入金が32億14百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は149億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億39百万円減少となりました。この主な要因は、所有する外国株式の時価の下落によりその他有価証券評価差額金が2億42百万円減少したこと等によるもので、この結果、自己資本比率は31.2%（前連結会計年度は33.7%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、59億79百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて5億77百万円減少となりました。また、前連結会計年度末に比べて58百万円増加となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は17億72百万円（前年同期は3億16百万円の支出）となりました。これは、主に事業活動に伴う商品及び製品の輸入炭等の購入によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10億96百万円（前年同期は11億56百万円の支出）となりました。これは、主に固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は29億26百万円（前年同期は24億32百万円の収入）となりました。これは、主に借入金の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想については、現時点で2019年5月10日に公表した計画から変更はありません。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,263	6,351
受取手形及び売掛金	5,012	3,480
未成工事支出金	1,884	1,232
商品及び製品	4,605	8,231
原材料及び貯蔵品	136	184
その他	1,224	1,510
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	19,118	20,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,068	8,556
土地	12,129	12,143
その他（純額）	1,149	539
有形固定資産合計	20,348	21,239
無形固定資産		
その他	77	75
無形固定資産合計	77	75
投資その他の資産		
投資有価証券	1,712	1,365
長期貸付金	20	14
差入保証金	2,050	2,054
その他	582	676
貸倒引当金	△13	△12
投資その他の資産合計	4,352	4,098
固定資産合計	24,778	25,413
資産合計	43,897	46,397

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,132	2,587
短期借入金	8,075	11,289
賞与引当金	240	249
その他	3,444	3,495
流動負債合計	14,893	17,622
固定負債		
社債	2,125	2,264
長期借入金	4,356	4,247
受入保証金	3,686	3,785
債務保証損失引当金	1,408	1,408
退職給付に係る負債	724	720
資産除去債務	178	161
その他	1,233	1,234
固定負債合計	13,711	13,821
負債合計	28,605	31,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,244	4,244
資本剰余金	3,347	3,347
利益剰余金	5,513	5,415
自己株式	△4	△4
株主資本合計	13,100	13,003
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	888	645
土地再評価差額金	833	833
退職給付に係る調整累計額	△9	△7
その他の包括利益累計額合計	1,712	1,472
非支配株主持分	479	477
純資産合計	15,292	14,953
負債純資産合計	43,897	46,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	15,789	16,098
売上原価	13,632	14,129
売上総利益	2,157	1,969
販売費及び一般管理費	1,724	1,672
営業利益	432	296
営業外収益		
受取配当金	27	34
貸倒引当金戻入額	4	—
保険解約返戻金	3	22
その他	37	46
営業外収益合計	72	104
営業外費用		
支払利息	114	135
その他	45	69
営業外費用合計	160	205
経常利益	345	195
特別利益		
固定資産売却益	2	23
投資有価証券売却益	9	—
特別利益合計	12	23
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	1	4
じん肺補償損失	7	—
その他	0	—
特別損失合計	9	5
税金等調整前四半期純利益	347	213
法人税等	101	76
四半期純利益	245	136
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	233	135

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	245	136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	437	△244
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	440	△242
四半期包括利益	685	△105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	673	△104
非支配株主に係る四半期包括利益	12	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	347	213
減価償却費	279	313
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△21
固定資産除却損	1	4
受取配当金	△27	△34
受取利息	△0	△0
支払利息	114	135
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9	—
売上債権の増減額 (△は増加)	902	1,531
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,109	△3,023
仕入債務の増減額 (△は減少)	587	△541
前受金の増減額 (△は減少)	863	87
じん肺補償損失引当金の増減額 (△は減少)	7	—
その他	△7	△204
小計	△52	△1,540
利息及び配当金の受取額	27	35
利息の支払額	△128	△158
法人税等の支払額	△178	△116
法人税等の還付額	15	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	△316	△1,772
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,118	△1,136
固定資産の売却による収入	2	92
資産除去債務の履行による支出	—	△17
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
長期貸付金の回収による収入	3	10
投資有価証券の売却による収入	11	—
定期預金の増減額 (△は増加)	△27	△29
保険積立金の解約による収入	—	16
その他	△28	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,156	△1,096
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	783	488
社債の償還による支出	△202	△341
短期借入れによる収入	8,674	9,139
短期借入金の返済による支出	△6,935	△6,688
長期借入れによる収入	1,150	1,320
長期借入金の返済による支出	△692	△664
リース債務の返済による支出	△103	△93
配当金の支払額	△233	△233
その他	△7	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,432	2,926
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	960	58
現金及び現金同等物の期首残高	5,596	5,921
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,557	5,979

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産	商事	サービス	建設工事	肥料	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,418	9,164	2,862	1,113	1,231	15,789	—	15,789
セグメント間の内部 売上高又は振替高	119	122	88	50	10	390	△390	—
計	1,537	9,286	2,950	1,164	1,241	16,180	△390	15,789
セグメント利益又は損失 (△)	370	246	244	△27	36	870	△437	432

(注) 1. セグメント利益の調整額△437百万円は、セグメント間取引消去3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△434百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産	商事	サービス	建設工事	肥料	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,435	7,976	2,790	2,702	1,193	16,098	—	16,098
セグメント間の内部 売上高又は振替高	100	132	54	134	0	422	△422	—
計	1,536	8,109	2,844	2,837	1,193	16,521	△422	16,098
セグメント利益又は損失 (△)	385	△23	253	89	30	735	△439	296

(注) 1. セグメント利益の調整額△439百万円は、セグメント間取引消去△24百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△414百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに所属しない当社の総務・経理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。